

人生ハンド仏句

第100号

H. 22. 7. 1
(毎月1日発行)

祝・百号

住職 谷川寛俊

「出来たら毎月一回何か機関誌みたいな物を出したらいいね。」と家族の中での話し合いから始まった「人生ハンド仏句」も平成十四年四月より今月号でめでたく百号の節目を迎える事が出来ました。これもひとえに「毎月楽しみにしていますヨ」「良い勉強になりました」「早く来月が来ないかと待ち遠しいです」「日蓮宗新聞よりも分かり易くて良いですよ」などなど毎号大切にファイルに綴じて仏壇の横に飾ってある方など、ほんとうに楽しみに愛読して下さる方がいらっしやるからこそ、ここまで続けてこられたものと心から感謝と御礼を申し上げる次第で御座います。

しかし、今振り返ってみると、毎月一日発行の為、前日の夜中によく完成！と言うこともしばしばでした。住職も副住職も原稿さえ書けば、あとは妻(編集長)がパソコンを打って完成させる訳ですが、その原稿特に住職の原稿が、月末ギリギリになつてできあがるような時は、編集長が一番苦労するわけです。

夜中の一時、二時。時には三時頃まで、もくもくとパソコンに向かつてやつと完成した事もありました。文句一つ言わずに頑張ってくれている編集長に頭が下がります。

本場に「継続は力なり」とよく申しますが、まさにその通りであります。当初の頃から見ると少しずつではありますが、内容も良くなっているのではないかと自負致しております。

なかなか毎月発行するという事は大変な事です。よくあるのは、季刊

編集・発行
玉蓮山 真成 寺
編 集 部 谷川久仁子
TEL・FAX (0765)22-2268
メールアドレス
kokorochanthk@ybb.ne.jp
ホームページアドレス
<http://www.geocities.jp/sinjyoujitoyama108/>

と言つて年四回、春・夏・秋・冬、或いは春のお彼岸号、お盆号、秋のお彼岸号の三回。或いは一年二回のみというのたまに聞きます。(もつとも何も発行していない寺院がほとんどですが・・・)

過去に私の先代が信行会を結成した頃、やはり「信行会だより」というのを年二・三回発行していた記憶があります。これは信行会のメンバーの人達が中心になって原稿を作成していました。

本来はこのように檀信徒の人達が中心になって発行するようになる事が一番望ましい事なのです。

毎月二十日が原稿〆切りとなつていますが、だいたい私の場合二十五日頃になってようやく、来月は何を書こうかなあ？・・・が現状です。

ですから来年から年四回にしようか、それとも隔月(かくげつ)(二ヵ月

おき)にしようかと等と弱音を吐くと、副住職や編集長から一喝されてしまいます。

ある有名な会社の社長さんの言葉に「継続の秘訣」にはコツが二つあると言っています。

それは「コツ」「コツ」やる事だと言っています。笑い話のようですが、要はコツコツと努力し続けることが、何よりの秘訣です。

読んで下さる人が一人でもいらつしやる限り、続けなければいけないと、今、心を新たに致しております。

どうぞ今後共、宜敷くお願い申し上げます。

願わくば、ご感想・ご意見・ご寄稿そして御叱正(ごしっせい)賜りますればこの上ない喜びと励みになるものと存じます。

